

保証書

持込修理 無料修理規定

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 2.保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
- 3.ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 5.本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名 ハンディスチーマー				★お買い上げ日： 年 月 日	
型番	KAJ-X160-W	品番	08-1610	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）	
お客様	フリガナ ★お名前 様				
	★ご住所 〒 ー				
	電話 ()				
修理メモ					
販売店	★住所 店名 電話				
	印				

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機	
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8	
https://www.ohm-electric.co.jp	
製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00
	※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00
	※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます



ハンディスチーマー

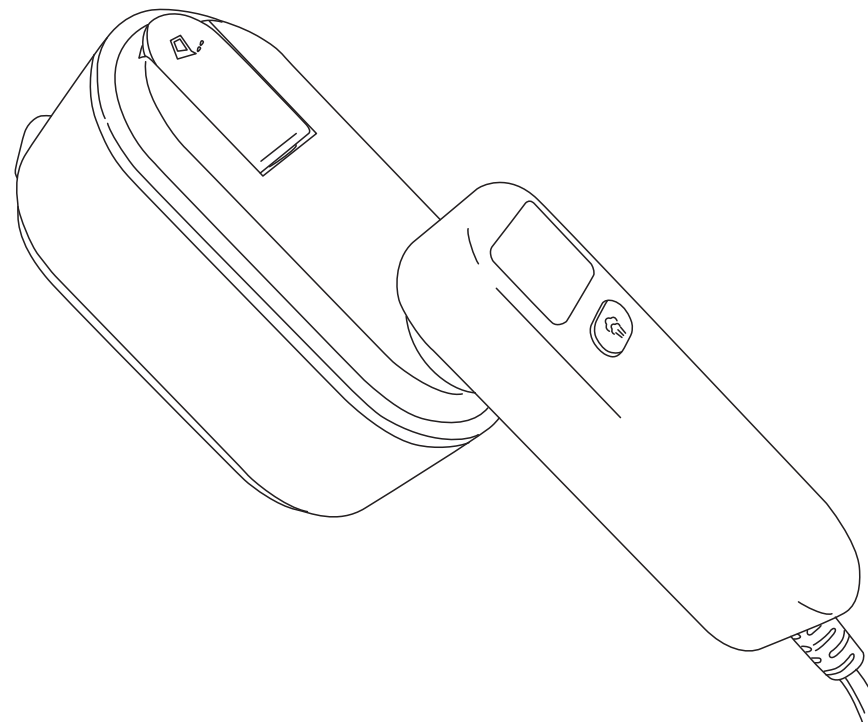
保証書付取扱説明書

型番: KAJ-X160-W

品番: 08-1610

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくお使いください。

この説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管してください。



安全上のご注意

必ずお読みください

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

●表示について:表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一部です)

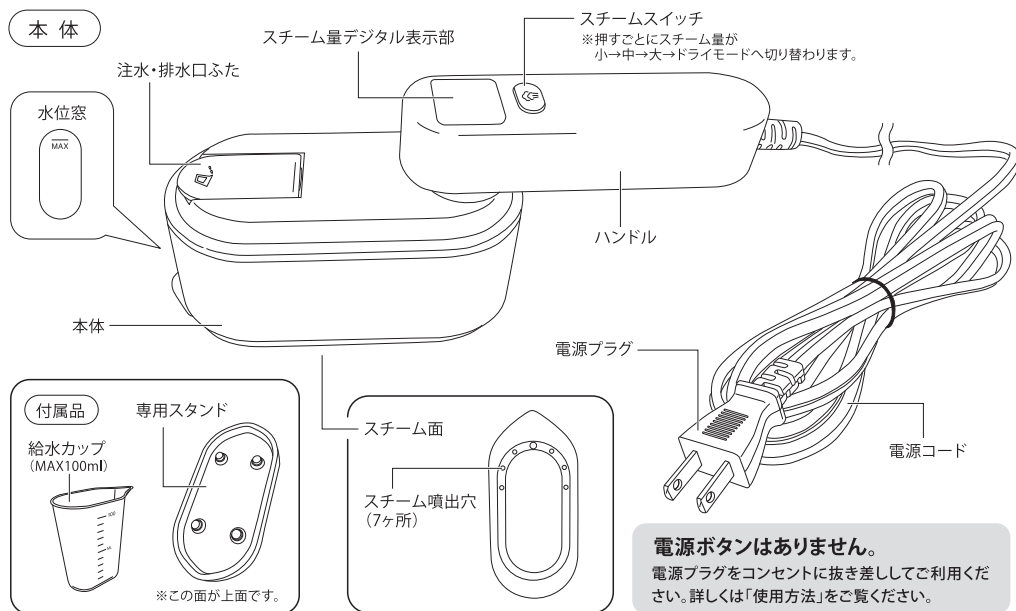
	禁止	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	指示	この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告			
 必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	 電源プラグを抜く	お手入れのときは必ず電源プラグを抜き、必ず本体(スチーム面など)が冷めてから行なう。 やけどや感電のおそれがあります。
	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	 ぬれた手禁止	電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。 感電のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜く。 火災や感電のおそれがあります。使用を中止して販売店または弊社お客様相談室まで修理を依頼してください。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしない。 ショートによる故障・感電・火災のおそれがあります。
	使用しないときはコンセントから電源プラグを抜く。 火災や事故の原因になります。	 分解禁止	お客様ご自身での分解、改造、修理はしない。 火災や感電、けがのおそれがあります。販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。ご自身で分解、改造、修理を行った場合は保証の対象となりません。
	電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず電源プラグを持つ。 感電やショートによる発火の原因となります。	 指示に従う	使用時以外や給排水時は電源プラグを抜く 感電や火災の原因になります。

 必ず守る	電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。 交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用したり、延長コードを使用すると発熱による火災の原因になります。	 禁止	浴室、温室などの高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない。 ショートによる感電や火災、やけどの原因になります。
 禁止	電源コードを本体に巻きつけたまま収納しない。 コードが断線して、ショートによる感電や発火の原因になります。		使用中や使用直後は、高温部(スチーム面、本体側面、注水タンク下部)やスチームに手を触れない。 やけどの原因になります。
	電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、束ねたり、引っ張ったりしない。 火災や感電のおそれがあります。		スチーム面やスチームを人に向けて使わない。スチームを顔、手、ひざなど、身体にあてない。着用したまま衣類にかけない。 湯滴が出て、やけどの原因になります。
	故障や一部破損した状態で使用しない。 けがや感電のおそれがあります。		落としたり、ぶつけたりしない。 ショートによる発火や感電、故障の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。		カーテンなど可燃物の近くで使用しない。 火災のおそれがあります。
	本体を水洗いしない、水ぬれ禁止。ぬれた手で使わない。蛇口から直接給水しない。 ショートによる感電ややけどの原因になります。		火気の近くや油のかかる場所で使用しない。 火災や感電のおそれがあります。
			お子様だけのご使用や、お子様の手の届く場所で使用しない。 けがややけど、感電のおそれがあります。

 注意			
 必ず守る	ボタン、ファスナーなどの固いものにはアイロンをかけない。 かけ面に傷がつく原因となります。	 禁止	湿った衣類、霧吹きをした衣類にはスチームを使用しない。 湯滴が出てやけどの原因になります。
	コートや毛足の長い衣類は、スチーム面を離してスチームをかける。 衣類を傷める原因になります。		水道水以外の水を注水タンクに入れない。 衣類が変色する原因になります。
	高級品や特殊加工品などには目立たないところに試しがけをする(ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなど)。 衣類を傷める原因になります。		引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない。 火災の原因になります。
	使用後は必ず排水する。 注水タンクに水が残っているとお湯が漏れ、やけどの原因になります。排水の後に水滴が残ることがありますが、問題はありません。		本体内部にピンや針金などを入れない。衣類に縫い針などを刺したまま、スチームをあてない。 本体内部に入り、発火の原因になります。
	使用を中断する時や使用していない時は、必ず専用スタンドに置く。 けがややけどの原因になります。		注水タンクに水を入れたまま逆さまにしたり、前後に激しく動かさない。 水漏れしたり、湯滴が出てやけどや故障の原因になります。
	アイロンのそばを離れるときは通電したままにしない。 火災ややけど、けがの原因になります。		本製品を他の用途で使用しない。 やけどや火災の原因になります。 本品は、繊維専用です。
			本製品は家庭用なので、業務用として使わない。

各部の名称



使用する前に

- 予熱完了後、底面温度は約150℃まで上昇します。
- 当商品は温度調節が出来ません。
- 衣類のラベルに記載された「取り扱い表示」に従って、アイロンをかけます。
- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。
- 絵表示のない場合は、下記の繊維の種類に合わせて使用してください。

×:不可 ○可

繊維製品の 絵表示	絵表示 (旧)	低	中	高
	絵表示 (新)			
繊維の種類	アクリル・アクリル系・ポリウレタン・ポリプロピレン・ビニリデン 絹・毛・ナイロン・ビニロン・レーヨン(長繊維)・キュプラ・アセテート・ポリエステル・トリアセテート 綿・麻・レーヨン(短繊維)・ポリノジック			
本製品の 使用	ドライ モード	×	○	○ ※素材によってはしわが伸びにくい場合があります。
	スチーム面を 衣類にあてて使用	×	○	○
	スチーム面を 衣類から離して使用	○	○	○

使用する前に (つづき)

絵表示の見かた(例)

絵表示 (旧)			
絵表示 (新)	言葉で表現されます。 (例) あて布使用	言葉で表現されます。 (例) 裏からかける	
意味	指定された温度であて布をする意味です。	指定された温度で布地の裏からかける意味です。	アイロンがけはできません。



アイロン仕上げ禁止マークが付いている衣類は、本製品をご利用できません。

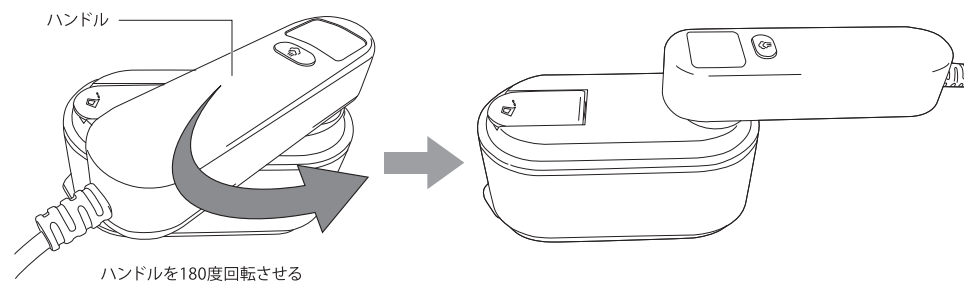
※その他、「スチーム禁止」などの表示がある場合は必ずその指示に従ってください。

- 使用中、アイロンを止めたり、極端にゆっくり動かし続けると、布地を傷めることがありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維(化繊・絹・毛など)にアイロンをかけるときは目立たないところで「試しがけ」をするか「あて布」をしてください。
- アイロン台の表面に湿り気を与えてアイロンがけをしないでください。
- 初めてスチームをお使いになるときは、スチームから臭いがすることがありますので、数回スチームを空噴きしてからご使用ください。
- スチーム面の温度が上がらないうち(通電開始から約10秒以内)にスチーム噴出穴から水や熱湯が噴き出したり、スチームが止まる場合があります。デジタル表示「0」のドライアイロンモードの表示を確認してから、スチームモードに切り替えスチームを出してください。
- 本体を正しい向きでご使用ください。
- 着用したままの衣類には使用しないでください。けがややけどの原因になります。
- 皮革製品には使用しないでください。変色・変形の原因になります。
- 大切な衣類や高価なものは、目立たないところで「試しがけ」をしてから、お使いください。



ハンドルのにぎり方

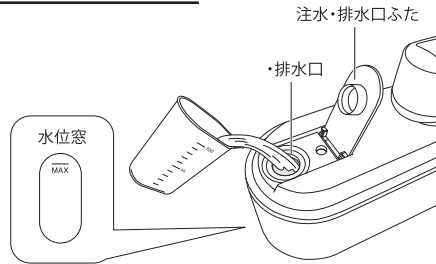
片方の手で本体を持ち、もう一方の手でハンドルを180度回転させてください。



使用方法

1. 注水タンクに水を入れる

- 注水・排水口ふたを開け、付属の給水カップを使用して、満水目盛(MAX)の位置まで水を注ぎます。その後、注水・排水口ふたを閉めます。



※注水時には電源を入れないでください。

※スチーム使用中に水がなくなった場合は専用スタンドに置き、温度が下がってから注水してください。

※本製品に給水ランプはございません。



注意

- 蛇口から直接水を入れないでください。
- 注水口以外に水がかかった場合は、乾いた布等で拭き取ってください。
- 満水目盛(MAX)以上の水は入れないでください。あふれたり漏れたりします。
- 注水タンクには、水道水を入れてください。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、リネンウォーターなどの香料を含んだ水は入れないでください。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源を接続するとデジタル表示が一瞬全部点灯します。その後、④が点滅し数字が9から0までカウントダウンし、④が消えると予熱が完了します。

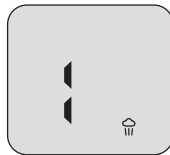
(※電源プラグをコンセントに差し込むと温度上昇が始まります。ご注意ください。)

3. アイロンをかける

スチームスイッチを押すたびに、スチーム量 小(デジタル表示1) → スチーム量 中(デジタル表示2) → スチーム量 大(デジタル表示3)の順にモードが切り替わります。スチーム量大モードで再度ボタンを押すと、ドライモードに戻ります。



ドライアイロン



スチーム量 小



スチーム量 中



スチーム量 大

4. 使用後

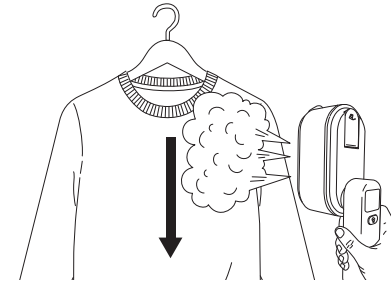
- ①本体を専用スタンドに置いてください。
- ②電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③本体が冷めてから注水・排水口ふたを開け、水を捨ててください。
- ④電源コードをまとめ、安定した場所で保管してください。

※ご使用後、既に温度が高い状態で再び使用する場合、デジタル表示の9から0までのカウントダウンの動きが早まります。

上手なスチームの使い方

ハンガーにかけたままの使用方法

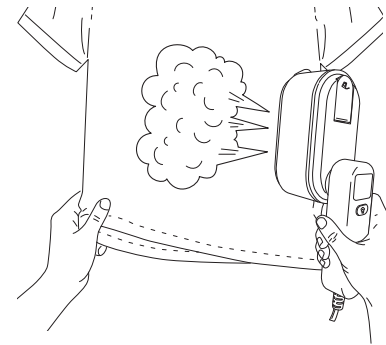
本体を上向きに持ち、衣類とアイロンのスチーム面を平行にして、上から下方向へスチームをあててください。



※ハンガーに直接かからないようにご注意ください。ハンガーが変形するおそれがあります。

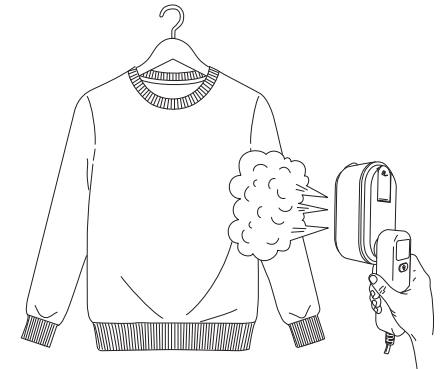
シワを伸ばすには

衣類の端を軽く引っ張りながら、本体のスチーム面をなでるようにあててください。ゆっくりと中央からひろがるように繰り返し動かしてください。



セーター等、スチーム面を当てられない場合

アイロンのスチーム面を少し離して、全体にスチームをあててください。



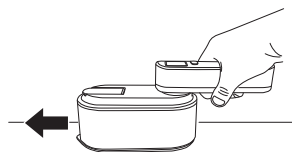
※厚手の綿や麻は、スチームでのシワ伸ばしは不向きです。
霧吹きで十分に湿らせてからドライアイロンをかけることをおすすめします。

上手なドライアイロンの使い方

アイロン台に置いての使用方法

片方の手でぬい目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら両手を上手に使いましょう。

〈軽く滑らせる〉



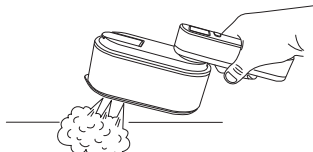
戻りジワを防ぐため、一方向に軽くかけます。

〈しっかり押さえる〉



ガンコなシワ、厚手の布地の折り目つけなどは、しっかり押さえます。

〈軽く浮かせる〉



毛足の長い繊維やにおいとりは、軽く浮かせてスチームをあてます。

※〈注意1〉不安定な場所にアイロン台を置いて使用しない。

〈注意2〉本体をアイロン台からはみ出さないようにする。

▶けがややけどの原因になります。

〈アイロンがけワンポイントアドバイス〉

- 綿や麻などには霧吹きをしましょう。
霧吹きをしてからドライアイロンをかけるときれいに仕上がります。
- スチーム面に衣類がからみつくときは
静電気が発生していますので、衣類の端まですべらせてから本体を持ち上げます。
- スプレーのりなどの仕上げ剤を使うときは
成分にシリコンが配合されたものをお使いください。衣類にスプレーしてからひと呼吸おき、のりを衣類になじませてからかけると、アイロンがかけやすく効果的です。洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ずドライアイロンがけをします。

〈少し固めに仕上げたいときは〉

【スプレーのり】⇒【アイロンがけ(ドライ)】を繰り返します。

(一度に多量のスプレーのりをかけると、スチーム面にこびりつく原因になります。)

- 洗たくのり付けをした生乾きの衣類には
必ず、ドライアイロンをかけてください。
- アブリケや接着芯などを接着するときは
必ず「あて布」をして、アイロンがけをしてください。
説明書が添付されているときは、それに従ってください。

〈スチーム面にのり成分が付着した場合〉

スチーム面が冷えてからその都度お手入れをしてください。

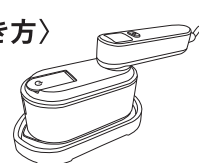
のりが付着したままお使いになると、スチーム面にこびりついて取れにくくなります。また、そのままぬれた布にアイロンがけをすると、色移りする場合があります。

スタンドへの置き方

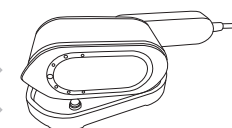
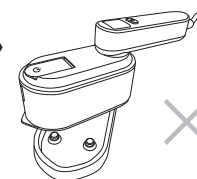
使用後や使用中に一時的に置くときは、本体を正しくスタンドへ置いてください。スタンドは不安定な場所や熱に弱い敷物(じゅうたん・畳・ビニールクロス・樹脂製のものなど)の上に置かないでください。

※スチームモードの状態では置かないでください。

〈正しい置き方〉



〈誤った置き方〉



お願い



大切な衣類や高価なものは目立たないところで「試しがけ」をしてからお使いください。

「上手なスチームの使い方」、「上手なドライアイロンの使い方」は、あくまでも目安です。生地によっては効果が出にくいものや出ないものもあります。

お手入れのしかた

安全のため、電源プラグを抜き本体・周辺が冷めてから行ってください。

各部のお手入れの際、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使用しないでください。

〔本体・専用スタンドのお手入れ〕

- 汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませたやわらかい布で汚れをふき取ってください。
- 樹脂部分は強くこすらないでください。傷が付くことがあります。

〔スチーム面／スチーム噴出口のお手入れ〕

- 頑固な汚れには、よくぬらしたタオルの上にアイロンが冷めた状態でスチーム面を下にして、1時間ほど置き、汚れをふやかします。その後、乾いた布でよくふき取ってください。
- スプレーのりなどを使用した後、スチーム面に付着したのりなどの汚れは、スチーム面が完全に冷めてからぬるま湯か台所用中性洗剤を浸して固くしぼった柔らかい布でふき取ってください。
- ご使用後はなるべく早くお手入れをしてください。
そのまま放置すると、汚れがとりにくくなり布地を汚すおそれがあります。また、スチーム面に汚れが付いているとすべりが悪くなります。

故障かなと思ったら

症 状	原 因	対 策
熱くならない。	●電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていない。	◎電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
スチームが出ない。	●注水タンクの水が無くなっている。	◎注水タンクに満水まで水を入れてください。
	●デジタル表示が0になっている。	◎スチーム量を1以上に設定してください。
	●スチーム噴出口に水アカがつまっている。	◎つまようじなどで噴出口のつまりを取り除いてください。
	●通電直後に使用している。	◎立ち上がりまで10秒間待ってください。
アイロンをかけると衣類が汚れる。	●きれいな水を使用していない。	◎水を入れるときは、専用の給水カップを使用してください。ジュースなどが残っている容器に入れた水を使用すると、衣類を汚す原因になります。
	●スチーム面、スチーム噴出口、注水タンクの水が汚れている。	◎スチーム面、スチーム噴出口、専用スタンドの汚れやごみを取り除いてください。 ◎きれいな水をご使用ください。
スチーム使用時に白い粉が出る。	●水に含まれるカルシウムなどのミネラル成分が出たもので、異常ではない。	◎スチームをお使いになる前に、不要な布の上で数回アイロンをかけてください。衣類に付着した場合は払っていただくと取れます。

※電源が入った状態では「コトコト」音が鳴ることがありますが、内部スチーム弁の動作音であり、故障ではありません。

上記の点検または処置をしても異常が直らなかったり、原因がわからないときは、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターへご連絡ください。

仕様

商 品 名	ハンディスチーマー
定 格 電 圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	最大1200W
スチーム面温度	(約) 150℃
温度過昇防止装置	温度ヒューズ240℃
ス チ ー ム 量	(約) 18g/分 (3段階調整)
連続スチーム時間	(約) 7分
本 体 寸 法	(約) 幅245×高さ74×奥行101mm
折 り 畳 み 時	(約) 幅165×高さ74×奥行101mm
水タンク容量	最大140ml
電源コード長さ	(約) 2.3m
質 量	約670g
付 属 品	専用スタンド、給水カップ、保証書付取扱説明書

※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
※型番、品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。